

健康経営の取り組み事例紹介

青木油脂工業の『健康宣言』

当社は、「より良い製品を作り、社会に貢献する」ため、社員の健康維持増進は不可欠であると考えている。全社員が長く元気で楽しく働ける職場を目指し、「健康経営」に取り組むことを宣言する。

青木油脂工業株式会社 代表取締役社長 青木 俊浩



2023年度目標の達成状況

	2022年度	2023年度
対象者数	5	16
実施者数	1	5
実施率	20%	31%

今期(2023年度)の目標として昨年に引き続き「特定保健指導実施率の向上」を掲げ、目標値を50%と定めました。

結果は昨年と比較して特定保健指導対象者は5人から16人と対象人数は増加しましたが、特定保健指導実施率は31%と、前年度の20%から11%増加しました。

今後も特定保健指導対象者の管理体制や特定保健指導の勧奨方法などを検討し、特定保健指導の対象者の減少と特定保健指導の実施率向上に取り組んでまいります。

※特定保健指導…生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ(保健師、管理栄養士など)が生活習慣を見直すサポートを行うもの。

運動機会増進の取り組み

社員に健康で長く働いてもらうため身体の健康づくりとして、今年度も運動機会の増進の取り組みを年1回実施することを目標として掲げました。昨年に引き続き2024年5月13日から6月9日までの約1ヵ月間でウォーキングイベント「第2回 AOKI ウォーKING決定戦」を実施しました。ただ、第1回目開催の感想として、チーム戦だとプレッシャーがある…といった社内からの声も挙がったため、第2回はチームの部と個人の部を完全に分けて、チーム編成も社員同士が声を掛け合って自由にチームを組んでもらいました。昨年同様イベント期間中に80万歩 歩く人がいたり、イベント期間に徒歩通勤になった人がいたり、積極的に取り組んでいただけました。今後も引き続き、楽しみながら健康活動に取り組めるプログラムを実施し、社員の健康増進に努めてまいります。



健康意識の向上

この度はプレゼンティーズム(何かしらの不調を抱えながら仕事をしている状態)対策として、社内にて肩こり・腰痛セミナーを開催しました。肩こりや腰痛に悩む日本人が8割近くいるという調査結果に基づき本テーマで実施し、45名の方にご参加いただきました。座学のみならず、実際に動画を視聴しながらストレッチをしてもらうといった実践形式で行い、業務合間の30分程度でしたが継続的に身体を動かすことの大切さを再確認できたことと思います。会社を休むほどではない症状なだけに、プレゼンティーズムは可視化されない部分ですが、健康関連コストの大部分を占めるため、引き続き注力していきたいと思っております。



女性の健康保持増進

女性の健康保持増進の一環として、本年も外部講師をお招きし女性の健康応援セミナーを開催しました。第2回は「女性特有のがん」をテーマとし、ホルモンバランスの変化や更年期についても触れていただきました。当社は男性従業員が多い中で、女性の健康について理解を深める良い機会になったことと思います。今後も引き続き女性の健康保持増進について取り組んでまいります。

健康情報の提供

社内のコミュニティサイトの掲示板を活用し、毎月1回異なるテーマで様々な病気の原因・症状・治療と予防法や、できるだけ控えたほうが良い習慣について問題点、健康被害、改善方法を紹介することで、全従業員の健康意識が向上するように努めています。

●2023年度の提供内容●



①夏バテ



②副鼻腔炎



③加齢黄斑変性



④腰痛



⑤アルコール肝炎



⑥舌の症状



⑦目の表情



⑧足の状態



⑨爪の状態



⑩顔色の状態



⑪体温



⑫呼吸

健康づくり担当者

本社…松並・三浦・青木 東京支店…寺澤
大阪工場…酒井・長谷川 滋賀工場…谷川・岡田 鹿島工場…岩瀬・岡

青木油脂工業株式会社



2024
健康経営優良法人
Health and productivity